

外国語活動

1 外国語活動でねらうもの

学習指導要領の目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

2 学習指導要領の特色

(1) 基本方針

- ① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めさせる。
知識としてだけでなく、動作を付けながら英語の歌を歌わせたり、ゲームを楽しませたりすることで、ジェスチャーや表情にも目を向かせて、日本と外国の言葉や文化の違いに気付かせる。
- ② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
コミュニケーション活動の体験では、児童が興味・関心を示す題材を取り扱い、自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりすることで、アイコンタクトや基本的なマナーを身に付けさせ、生き生きとしたコミュニケーション能力の素地を育む。
- ③ 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。
外国語の音声やリズムなどに慣れ親しませ、日本語との違いや言葉の面白さ、豊かさに気付かせる。また、歌やチャンツ、ALTの話などを活用して、楽しみながら聞く時間を確保し、それに基づいて話す活動へと進める。

(2) 具体的事項

- ① 年間計画案及び単元計画案は、Hi, friends!指導編を基に、テキストの配列にしたがって立案する。
- ② 単元計画の構成は、1レッスンごとに展開する。また、活動例として具体的なゲームの方法は備考欄に紹介する。なお、同じゲームについては初めてそのゲームを扱う単元の備考欄にのみ示す。
- ③ 担任が授業における指導の主体となり、授業を展開する。なお、ALTとのチームティーチングによる指導が可能な場合、両者の役割を明らかにして、機能的に授業を展開する。
- ④ 児童の学習活動は、「聞くこと」「話すこと」の活動を重視した内容とする。デジタル教材等の視聴覚教材を使用し、外国語のもつ音声やリズムに慣れ親しませるようにする。
- ⑤ 各学年の総時間数は、5年生35時間、6年生35時間とする。
- ⑥ 単元計画の本文に示されたLL, LP, LC, LS, Aは、以下に示すものを表す。
LL = Let's Listen, LP = Let's Play, LC = Let's Chant, LS = Let's Sing, A = Activity

3 道徳との関連

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めることは、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努めることにつながるものである。

4 評価の観点の趣旨

観 点	観 点 の 趣 旨
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
外国語への慣れ親しみ	活動で用いている外国語を聞いたり話したりしながら、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。
言語や文化に関する気付き	外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通じて言葉の面白さや豊かさ、多様なものの見方や考え方がることなどに気付いている。